

渡辺復興大臣記者会見録

(平成30年12月18日(火)18:26 - 18:32於) 東京電力福島第二原子力発電所)

1. 発言要旨

本日は、ここ東京電力福島第二原子力発電所において、現状や安全対策について視察をいたしました。また、発災直後の対応についてもお話を伺ったところでございます。

福島第二原発に対する、地元の方々の関心は高いものがあると考えております。東京電力が廃炉に向けた具体的な検討を行うに当たっては、関係者の皆さん方とよくコミュニケーションを重ねながら進めていくことが重要であるということを改めて感じたところでございます。

復興庁としましても、引き続き関係省庁と連携して、住民の方々が安心して帰還していただけるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。

2. 質疑応答

(問) 先程もありましたが、今日、視察されての感想と、あと視察した中で気になった点などあればお聞かせください。

(答) 福島第二原発についてははじめての視察であります。したがって、どういう状況にあるかということ自体、私自身この目で実際に確認をしたいということが、最初の出発点であります。

そうした中において、本日は現状がどうなっているのか、そして安全対策はどのようになっているのか、こういった視点を中心に見させていただきました。

その上で感じたところでございますが、安全対策については、しっかりと努力をしている姿が感じられたというふうに思っております。私が特に感じたのは、第一原発と第二原発との差は一体何だったんだろうかということに関心がありました。

そういった状況を見たときには、やはり電力の停止、全面的な停止があったかなかったか、ここに最終的には尽きるというふうに思っております。第二原発については、この全面停止がなかったと、しっかりと安定的な冷却に努力をしてきたという姿も、お話をお伺いしたところであります。

そういった状況の中で、今回の感想は以上申し上げたとおり、まずは安全対策、これは大変重要な課題であるということで、この点については努力をしているということを感じたところでございます。

(問) 分かりました。

今、福島第二原発の方は廃炉の方向性は示されたものの、まだ正式決定という段階にはありませんが、その状況についての受け止めをお聞かせください。

(答) この廃炉決定は、6月に基本的に小早川社長が申し上げたところでありますけれども、私は10月に小早川社長が大臣室に来たときに、具体的に速やかな形で一つの方向性を示していただきたい、これが福島の県民の思いであるという旨はお伝えをしたところでございます。

この具体的な問題について早急に取り組んでいただきたい、これを期待しているところでございます。

(問) 分かりました。

逆に、その廃炉になりますと、楢葉町と富岡町とか、その交付金があったものがなくなっていくということもあります。そこに対して、国としてどういうふうを考えていらっしゃるかお聞かせください。

(答) まず、先程申し上げましたとおり、東京電力が廃炉に向けて努力するということであれば、関係者とのコミュニケーションは当然必要になってくるというふうに思います。また、復興庁としましては、特に福島イノベーションコースト構想、これは政府一丸となって推進しているところでございますので、産業集積の加速化、こういったことも含めて復興に全力で取り組んでいきたいというふうに思っております。

(問) 今回の視察、今日、東京の方で復興・創生期間後の課題についての発表もあったと思いますけれども、明日、この原発周辺の地域を見る中で、一番どういうところを、視察の中で見ていきたいと思いませんか。

(答) まずは、当然のことながら、今、福島の現状というものをしっかりと見ていかなければなりません。当然のことながら、まだ帰れない地域、大熊、双葉もございます。さらには、新しい福島、新しい東北ということをどのように進めていったらいいのか、地域のまずは活性化のためのもとをどのようにつくっていったらいいのか、そして安心して帰還できるにはどうしたらいいのか、こういった視点をしっかりと見てまいりたいというふうに思っております。

もう一点。

特に復興・創生期間後の問題については、今回対応を公表したわけでありますけれども、具体的な方向性については、今年度に決めていくわけでありますので、これについては、もう少し時間をいただきたいというふうに思っております。

また、特に福島についての課題として、風評払拭、この部分につ

いてはしっかりと取り組んでいかなければならない、と思っておりますし、リスクコミュニケーション、こういった問題についてもどのように取り組んでいくか、こういったことも含めて、今後の復興・創生期間後の問題についての課題として取り組んでまいりたいというふうに思います。

(以 上)